

平成27年度 糸魚川市体育部 活動報告

部長 佐藤 剛

1 研究主題

互いに協力し、楽しんで行うボール運動

2 研究の概要

糸魚川市教育研究会体育部会は小学校と中学校が一緒になって活動している。そして、本年度は小学校の授業公開が行われた。これは中学校の立場から見れば、中学校へと進学してくる子どもたちの段階的な学びの発展、それぞれの段階での授業構成・指導技術で共通して大切することや工夫することを検討するよい機会となる。当会では過去3年間、小学校3年と5年「ボール運動」、中学校1年「球技」の授業公開を行ってきた。そこで今回は再度、小学校での授業公開を3年「ボール運動」にすることで、先に述べた目的の達成を目指すことにした。

3 研究の実際

- (1) 日時 平成27年11月11日(水)
- (2) 会場 糸魚川市立大和川小学校
- (3) 指導者 上越教育事務所学校支援第2課
指導主事 宮川久良様
- (4) 授業 第3学年
ネット型ゲーム「タスポニー」
- (5) 授業者 大和川小学校 伊藤豪佑教諭
- (6) 参加者 糸魚川市教育研究会
体育部員 33名



4 成果と課題

(1) 授業公開

児童の具体的な活動の様子から、授業者がねらいとした「ラリーができるだけ続くように、どうすれば相手ペアが打ち返しやすいかを考えてゲームができる」を見取ることができた。また、授業者が単元全体で目指す目標とした「技能を身につけてゲームを楽しむ」「規則を守り仲良く運動する」「簡単な作戦をたてる」も指導計画に従って進めることで、達成できることが予測できた。

(2) 研究協議

- ①ねらい達成について、教材と授業構成の面から話し合った。教材として①ラケット不要、②ゆるやかなボールスピードが3年生に適切であることを確認した。授業構成として①目標が分かりやすく全員が共有できたこと、②「ゲーム3分+振り返り2分」がテンポよく繰り返されたことが挙げられた。さらに③「振り返りカード」による学び合い、そして④授業者のプラスのフィードバックが常に児童を励まし続けたことも評価された。
- ②各中学校区単位で「ゲームからボール運動、球技への連続・発展させていくために配慮すること」について話し合った。その後、各取組を紹介し合い、今後の取組の参考にすることができた。

(3) 指導

優れた授業構成を評価した上で、4つの改善点を指導いただいた。

- ①ゲームのメンバーを入れ替えることで、さらに学び合いを広げる。
- ②ルールの工夫で、さらに思考力・判断力を働かせる場をつくる。
- ③振り返りの場面を設けることで、本時の学びを確かなものにする。
- ④準備運動と整理運動をセットで行わせることで生涯体育の基礎をつくる。